

令和5年度 経営発達支援事業及び事業継続力強化支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 大樹町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 付議日 令和5年 7月10日 (月)
3. 開催方法 書面開催
4. 書面による出席者
 - (1) 外部有識者 大樹町企画商工課 課長 伊勢 徹則
大樹町観光協会 会長 一戸 勉
帯広信用金庫大樹支店 支店長 平田 圭次
北海道商工会連合会十勝支所長 敦澤 琢弥
 - (2) 商工会 会長 三浦 祥嗣
副会長 砂田 正好
同 田中 正一
総務企画委員長 堀川 俊明
同 副委員長 田中ひとみ
同 委員 加藤 康浩
同 委員 高橋 秀昌
事務局長 村田 修
経営指導員 斉藤 秀則

5. 経過報告

令和4年度経営発達支援事業及び事業継続力強化支援事業に係る評価委員会の開催に際し、感染症拡大防止を考慮し書面による開催とした。

6. 評価方法

別紙、経営発達支援事業評価シートの法定経営指導員による自己評価に対するコメント等を、外部有識者をはじめとした評価委員から聴取し、事業の改善等に繋げる。

(1) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者から聴取した意見等は下記のとおり。

(田中委員)

事業計画策定に関しての専門家支援は、今後も継続してほしい。

事業計画を策定することで各種補助金の採択に繋がっている。補助金の有無は資金調達の緩和に繋がり、経営資源としてメリットが大きいため、引き続き事業計画策定支援を継続し、小規模事業者の販路開拓支援に取り組んでほしい。

(平田委員)

町内唯一の金融機関として、当金庫も事業承継をメインの課題として捉えています、そのため商工会としっかり連携し取組んでいきたい。商工会とは日常的に情報交換を行っているため、関係する情報は共有できていると思っている。引き続き定期的な接点機会を継続していきたい。

(三浦委員長)

感染症も5類に移行し、これまでとは経営環境も変わってくると予想される。経済の回復基調に乗り遅れることが無いように小規模事業者と密着した支援を継続してほしい。

人手不足の影響が懸念されるため、業務効率化に繋がるような支援も積極的に展開してほしい。

(敦澤委員)

今後の成果指標として、支援回数だけではなく支援事業者の売上増加等にどれくらい結び付いたかが、より問われてくる。

引き続き支援事業者の収益改善に着目し取組んでほしい。

以上、評価委員より意見された内容を加味し、経営発達支援事業の効果的な執行に繋げていく。